

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 油研工業株式会社

コード番号 6393 URL <http://www.yuken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 向出 靖弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 永久 秀治

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 0467-77-2111

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	8,261	△44.6	△692	—	△990	—	△703	—
21年3月期第2四半期	14,912	—	1,010	—	976	—	521	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△16.20	—
21年3月期第2四半期	11.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	28,213	12,710	39.6	257.50
21年3月期	32,189	13,862	38.6	286.19

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 11,177百万円 21年3月期 12,424百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	3.00	3.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

現時点における期末配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	△23.0	△500	—	△900	—	△700	—	△16.13

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 45,106,764株 21年3月期 45,106,764株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,697,347株 21年3月期 1,693,949株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 43,410,845株 21年3月期第2四半期 44,345,292株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部では景気の持ち直しが見られたものの、設備投資は依然、低水準で推移し、雇用情勢は一段と悪化するなど、未だ厳しい状況が続きました。当油圧業界におきましては、平成21年1月から6月までの出荷額は、前年同期比51.8%減の961億8千万円となりました。

このような状況下、当社グループは、国内外の既存・新規顧客への積極的な拡販、量産低価格・グローバル対応の新商品の開発、緊急コスト削減策による人件費、経費の圧縮などにより売上と利益の確保にグループを挙げて取り組んでまいりましたが、在庫調整、設備投資の抑制などの影響を受けて国内、海外ともに大幅な売上減少となり、損益面では売上減少による限界利益の減少と円高に伴う為替差損の発生などにより営業損益、経常損益、四半期純損益ともに損失を計上する結果となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は前年同期比44.6%減少の82億6千1百万円となりました。営業損失は前年同期に比べ17億2百万円の減益となる6億9千2百万円、経常損失は同19億6千7百万円減益の9億9千万円、四半期純損失は同12億2千5百万円減益の7億3百万円となりました。

なお、当社の子会社である韓国油研工業株式会社及び油研液圧工業（張家港）有限公司を今年度連結会計年度より連結子会社としております。

単体の業績につきましては、売上高58億2千6百万円、営業損失8億1千3百万円、経常損失9億7千6百万円、四半期純損失5億9千7百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から39億7千5百万円減少し、282億1千3百万円となりました。増減の主なものは、流動資産では受取手形及び売掛金が28億1千8百万円減少、たな卸資産が9億2千4百万円減少、固定資産では有形固定資産が8億2千万円増加、投資有価証券が14億5千万円減少しております。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ28億2千3百万円減少し、155億3百万円となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金が25億7千万円減少、短期借入金が11億2千9百万円減少、長期借入金が8億4千9百万円増加しております。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億5千2百万円減少し、127億1千万円となりました。利益剰余金が13億2千6百万円減少しております。

自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント増加し、39.6%となりました。

（キャッシュ・フロー計算書）

営業活動によるキャッシュ・フローは7億8千3百万円の収入となりました。収入の主なものは、減価償却費4億3千4百万円、売上債権の減少35億8千4百万円、たな卸資産の減少17億6千4百万円などであり、支出の主なものは、税金等調整前四半期純損失9億7千5百万円、仕入債務の減少38億2千2百万円などであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは2億2千3百万円の支出となりました。支出の主なものは、有形固定資産の取得2億6千9百万円、投資有価証券の取得1億4百万円などであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは5億1千9百万円の支出となりました。収入の主なものは、長期借入金の純増額（返済による支出との純額）14億8千1百万円などであり、支出の主なものは、短期借入金純減額18億6千7百万円、配当金の支払1億3千2百万円などであります。

この結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べて6千6百万円減少し、37億6百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内は、足許、一部で在庫調整の進展、生産回復の動きが見られ、海外は、中国・アジア地域において現状、需要回復、受注増加の動きが顕著であり、回復基調にありますが、総じて受注水準自体は、暫く厳しい状況が継続するものと予想されます。

当社グループといたしましては、直面する厳しい事業環境を乗り越えるため、あらゆる経営努力を傾注して国内外の幅広い顧客への拡販を積極的に展開するとともに、生産性の向上、原価の低減、固定費の削減を徹底し、売上の拡大と利益の向上に最大限、努めてまいります。

なお、業績予想につきましては、現時点では平成21年10月8日に公表しました業績予想を変更しておりません。今後、修正の必要性が生じた場合には、適時かつ適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計算する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,279,868	4,198,463
受取手形及び売掛金	7,679,481	10,497,747
有価証券	38,991	7,485
商品及び製品	2,779,112	3,230,904
仕掛品	1,144,270	1,131,931
原材料及び貯蔵品	2,228,627	2,713,846
その他	747,034	1,057,417
貸倒引当金	△251,456	△256,456
流動資産合計	18,645,931	22,581,340
固定資産		
有形固定資産	6,070,398	5,250,310
無形固定資産		
のれん	139,204	—
その他	79,235	52,550
無形固定資産合計	218,439	52,550
投資その他の資産		
投資有価証券	1,712,509	3,162,886
その他	1,584,639	1,161,754
貸倒引当金	△18,404	△19,487
投資その他の資産合計	3,278,744	4,305,154
固定資産合計	9,567,582	9,608,015
資産合計	28,213,514	32,189,355
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,475,565	5,046,246
短期借入金	3,048,330	4,177,750
未払法人税等	4,330	—
引当金	113,914	297,178
その他	882,915	905,249
流動負債合計	6,525,055	10,426,425
固定負債		
長期借入金	6,479,306	5,630,091
退職給付引当金	2,137,828	2,158,045
負ののれん	—	3,234
その他	360,909	108,986
固定負債合計	8,978,044	7,900,357
負債合計	15,503,099	18,326,782

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,101	4,109,101
資本剰余金	3,853,007	3,853,007
利益剰余金	4,384,596	5,711,013
自己株式	△459,076	△458,540
株主資本合計	11,887,629	13,214,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	138,292	100,893
繰延ヘッジ損益	473	△27,801
為替換算調整勘定	△848,540	△863,478
評価・換算差額等合計	△709,774	△790,386
少数株主持分	1,532,560	1,438,377
純資産合計	12,710,414	13,862,572
負債純資産合計	28,213,514	32,189,355

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	14,912,548	8,261,952
売上原価	11,146,064	6,767,040
売上総利益	3,766,483	1,494,911
販売費及び一般管理費	2,756,337	2,187,516
営業利益又は営業損失(△)	1,010,146	△692,604
営業外収益		
受取利息	15,242	1,543
受取配当金	29,065	18,140
有価証券売却益	603	—
負ののれん償却額	2,156	—
雇用調整助成金	—	81,230
その他	91,533	34,067
営業外収益合計	138,601	134,982
営業外費用		
支払利息	113,519	135,231
為替差損	—	282,341
その他	58,814	15,768
営業外費用合計	172,333	433,341
経常利益又は経常損失(△)	976,414	△990,962
特別利益		
投資有価証券売却益	—	9,662
貸倒引当金戻入額	—	7,469
賞与引当金戻入額	5,800	100
特別利益合計	5,800	17,232
特別損失		
役員退職慰労金	21,350	—
固定資産売却損	955	803
差入保証金売却損	—	1,150
特別損失合計	22,305	1,953
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	959,909	△975,683
法人税等	372,816	△277,013
少数株主利益	65,369	4,672
四半期純利益又は四半期純損失(△)	521,723	△703,342

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	959,909	△975,683
減価償却費	400,286	434,397
のれん償却額	—	25,261
負ののれん償却額	△2,156	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△194	△14,879
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△88,887	△31,352
受取利息及び受取配当金	△44,307	△19,684
支払利息	113,519	135,231
為替差損益(△は益)	5,291	18,293
売上債権の増減額(△は増加)	567,994	3,584,894
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,381,558	1,764,639
仕入債務の増減額(△は減少)	325,028	△3,822,493
その他	△19,603	△118,304
小計	835,320	980,320
利息及び配当金の受取額	43,903	19,839
利息の支払額	△112,214	△137,363
法人税等の支払額	△338,204	△78,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	428,803	783,969
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	33,359	—
有形固定資産の取得による支出	△606,573	△269,752
有形固定資産の売却による収入	1,844	35,886
投資有価証券の取得による支出	△60,523	△104,227
投資有価証券の売却による収入	30,288	53,788
貸付けによる支出	△174,000	—
貸付金の回収による収入	1,004	2,959
その他	△127,352	57,622
投資活動によるキャッシュ・フロー	△901,952	△223,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	924,006	△1,867,945
長期借入れによる収入	600,000	2,150,000
長期借入金の返済による支出	△684,926	△668,112
自己株式の取得による支出	△136,431	△536
配当金の支払額	△311,087	△113,959
少数株主への配当金の支払額	△42,451	△18,951
財務活動によるキャッシュ・フロー	349,109	△519,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	△303,911	△106,750
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△427,950	△66,008
現金及び現金同等物の期首残高	3,717,684	3,424,294
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	81,887	348,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,371,621	3,706,973

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

事業の種類として「油圧機器事業」および「その他の事業」に区分しておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業損失および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「油圧機器事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,026,407	4,722,908	163,231	14,912,548	—	14,912,548
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,171,474	736,431	—	2,907,906	(2,907,906)	—
計	12,197,882	5,459,340	163,231	17,820,454	(2,907,906)	14,912,548
営業利益	869,841	170,685	4,514	1,045,041	(34,894)	1,010,146

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……台湾、香港、インド

(2) その他……イギリス

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,151,668	3,013,596	96,686	8,261,952	—	8,261,952
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,333,363	443,950	—	1,777,313	(1,777,313)	—
計	6,485,032	3,457,547	96,686	10,039,265	(1,777,313)	8,261,952
営業利益又は営業損失(△)	△835,542	217,596	△9,643	△627,590	(65,013)	△692,604

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……台湾、中国(香港)、インド、中国(張家港)、韓国

(2) その他……イギリス

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	5,582,608	158,248	131,235	111,155	5,983,247
II 連結売上高(千円)	14,912,548				
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	37.4	1.1	0.9	0.7	40.1

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、インド、韓国

(2) 北米……アメリカ

(3) ヨーロッパ……イギリス

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	3,038,735	70,480	82,044	47,353	3,238,614
II 連結売上高(千円)	8,261,952				
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	36.8	0.9	1.0	0.5	39.2

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、インド、韓国

(2) 北米……アメリカ

(3) ヨーロッパ……イギリス

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。